

戦ノ国Ver1.5

無償アップグレードはじまる!!

二〇一二年九月一日、戦国シミュレーションゲーム「戦ノ国」の登録ユーザーを対象としたキャンペーン「Ver1.5無償アップグレードサービス」が開始した。



その内容は、コンピュータ思考の強化とシナリオの追加、そして見た目の大幅な変更である。思考強化は、他の仕様変更と共に行われている。

まず攻城戦では、武将が配置されていなくても、一定の防御機能が発生する

追加シナリオで天下人と対決

そして新たにシナリオが追加された。従来のシナリオもリニューアルした。

追加シナリオサービス開始

入京後の義仲は、皇室問題に口を出した事や、都の治安が改善しない事で立場が悪くなる。そこへ一度は都を落ちた平家が、西国より逆襲を掛けた。

源平争乱

源平争乱も戦ノ国とのダブルキャンペーンという事で、シナリオが追加。これにて平家プレイも可能となった。



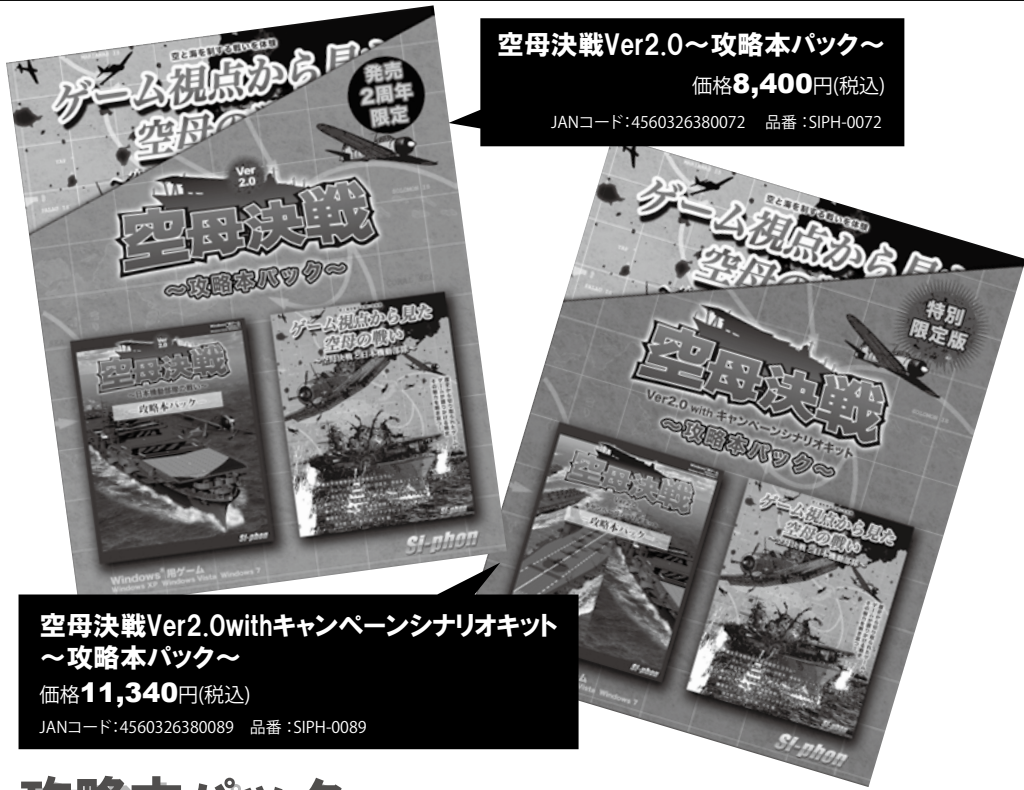
また年末には、更に強大な秀吉との対決シナリオが予定されている。真田や大友、島津や北条といった大名の心境を楽しみたい。

追加のシナリオは、天下人との対決シナリオである。その第一弾は織田信長との対決だ。信玄亡き後、長篠合戦の直前が開始時期である。浅井・朝倉も滅ぼされており、武田も苦しい立場でスタートする。

逆襲の平家、苦境の義仲

この水島合戦で義仲軍は大敗し、続いて行家軍も平家に撃破され、頼朝軍は坂東から迫る。ここで義仲は後白河法皇を幽閉し、仲間割れを起こす。法住寺合戦と呼ばれる戦いだ。追加シナリオはこの辺りより始まる。

追加シナリオでの義仲は、難易度が高い。そして平家も朝敵扱いを受けており、そう簡単には立ち行かない。また、強力な頼朝軍といえど、京を制圧した後で敗北を喫すると、一気に武士団の支持を失う。こうしたプレイスタイルが、従来の成長型プレイスタイルとの違いである。



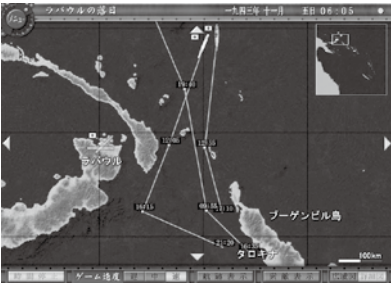
空母決戦Ver2.0withキャンペーンシナリオキット
～攻略本パック～
価格11,340円(税込)
JANコード:4560326380089 品番:SIPH-0089

攻略本パック

「空母決戦」と解説書「ゲーム視点から見た空母の戦い」がセットになったお得な製品。空母決戦には「シナリオ追加キャンペーン」の追加シナリオ 3 本が含まれています。解説書には日米の空母の戦いの他にもゲームのシナリオの解説が掲載されています。



解説書の内容



緊迫が続く空と海の戦い



大鳳や烈風が活躍するシナリオも

空母決戦 Ver2.0

価格**6,930**円(税込)
JANコード:4560326380034 品番:SIPH-0034

空母決戦 キャンペーンシナリオキット

価格**3,990**円(税込)
JANコード:4560326380041 品番:SIPH-0041

空母決戦 Ver2.0 with キャンペーンシナリオキット

価格**9,870**円(税込)
JANコード:4560326380058 品番:SIPH-0058

空母決戦 日本機動部隊 TASK FORCE Carrier Battles in the Pacific

価格**13,440**円(税込)
JANコード:4560326380065 品番:SIPH-0065

源平争乱

価格**7,980**円(税込)
JANコード:4560326381017 品番:SIPH-1017

源平争乱 中世日本を再現する為に開発された「武士団エンジン」のもと、プレイヤーは打倒平家の主軸となり上洛し、源氏の棟梁を目指して戦う。

源平争乱 義仲軍への道

Si-phon キャンペーン情報

『戦ノ国』『源平争乱』のご登録ユーザーを対象としたダブルキャンペーン実施中!!

《スケジュール》

- 2011 年 12 月 戦ノ国 追加シナリオ第二弾
- 2011 年 12 月 源平争乱 追加シナリオ第二弾

※ダウンロードが難しい方へディスク配布サービス予定

Si-phon 公式 HP はこちら
http://si-phon.com/
長崎市川口町 7 番 5 号

信玄上洛

武田の御旗を打ち立てよ

この冬、サイフォンよりソロプレイ専用ソリティアゲームが発売される。その製品の開発コンセプトを語ってみよう。

デジタルとアナログ、双方にシミュレーションゲームは存在する。だが、その多くは作りが異なる。

デジタルとアナログの違い

デジタルは、相手が見えない事が始どである。これは多くの場合、対戦相手をコンピュータが務めてくれるからだ。よって相手は見えず、殲滅・掃討する事への抵抗はない。またその行為を爽快感へ摩り替える事も容易となる。

対してアナログでは、目の前の相手と対戦する事が前提となる。その相手ユニットを全滅するまで終わらないルールでは、勝敗が見えた後がだらけるし、マルチプレイのゲームだと、脱落したユーザーから白けてしまう。よって、終わ

り方のルールが必要となる。そこでプレイの山は、終わり方ではなく、その直前、激突するまでの作戦・生産工程を練る過程が楽しくあるべきで、決戦を行なう事はその総括に過ぎない。

本来、シミュレーションゲームの面白さはここにあった。しかしデジタルの場合、時代と共にこれを見失い、数値や面積を成長させる事へ集約されていった。

アナログのソロプレイとは

ここで、双方の共通項というべきプレイスタイルがある。アナログゲームにおけるソロプレイスタイルだ。

敵味方、双方を一人で担当し、敵は見えない。この為、デジタル

的な勝利条件でも、前記のダルさが出難い。勝っている側のモチベーションでプレイできるからだ。また「待った」も容易である。これらの事例から、ある程度複雑なシークエンスであっても、その表現が「リアル」だと感じる限り、本人の負担であるとは感じず、むしろプレイへのモチベーションへ置き換わる。更に、ユニットのレートや表現方法によっては、感情移入も行なわれ易くなる。

ソリティアゲームの可能性

海外のタイトルでは、ソリティアゲームをよく目にするが、それが流行っているのかは分らない。Vassalなどの対戦ツールがあるとは言え、なんだかんだで、対戦できずにいる方も未だ多い事だろう。むしろ、ソロプレイで満足できている方も多いのではないだろうか。

本を読むのと同様、誰にも邪魔されず、一人で集中できる環境でその世界へ入り込む事は、趣味という世界において、別に変な行為ではない。だが、同じシミュレーションゲームをプレイする行為と

しては、対戦する感覚とは、明らかに異なるものだろう。

だったら、そんなソロプレイ専用のゲームを作ってみようという事になった。デジタルとアナログの共通項も多く、アナログで作っても、デジタルへ移行し易い可能性を持っているからだ。

信玄上洛のコンセプト

デジタルとアナログを繋ぎ、再びデジタルへ回帰できる可能性をもつコンテンツ。ソリティアゲーム信玄上洛は、こうした思惑で商品化される事となる。

スタートは昨年暮れだった。当初はB5サイズミニゲームから始まった。だが、次第に大きくなくていく事は、よくある話だ。対戦ができないくもないが、ソロプレイである事が前提なの



Si-phon 通販 /a-game shop などで取扱予定！
公式サイト→ <http://si-phon.jp/board/>

源平の戦いの流れ

戦ノ国に続き、源平争乱もシナリオが追加された。年明けの大河ドラマも平清盛である。そうした中、ホットな時代になりそうなのだが、源平は分らないと言つ方も意外と多い。聞きなれた合戦名を中心に、源平が争った歴史を展開してみよう。

源氏の台頭から以仁王の挙兵まで
1028-1031年 平忠常の乱 平将門の乱(935-940)に続く関東の大乱。甲斐守源頼信によって鎮圧され、源氏の関東進出のきっかけとなる。
1051-1062年 前九年の役 源頼義(源頼信の子)によって征討された奥州での戦い。奥州十二年合戦とも呼ばれるが、前九年の役が一般的な呼称である。
1083-1086年 後三年の役 源義家(源頼義の子)によって鎮圧されるも、朝廷からは私戦とみなされる。この後、奥州藤原氏が台頭する。ここで義家の弟・義光も活躍しており、義家の子孫と義光の子孫が、後の源氏の活躍・繁栄の中心となる。
1108年 義親の反乱 源義親(源義家の子)が起した反乱を平正盛(平清盛の祖父)が鎮圧し、伊勢平氏台頭のきっかけとなる。
1109年 義忠暗殺 源義忠(源義家の子)暗殺事件が発生。黒幕は源義光とされるが、犯人は義家の弟・義綱に仕立てられ、源為義らに討たれる。源氏の内訌の始まりとなる。
1155年 河内源氏の内訌 源義賢(源義朝の兄弟)が源義平(源義朝の子)に襲撃され、討取られる。義賢の子・仲家は摂津源氏の源頼政が育て、もう一人の子・義仲は木曾で育つ事となる。この事件後、直ちに源頼賢(源義賢の弟)が挙兵し、命を受けた源義朝が討伐に向かうも、頼賢の軍は解散する。
1156年 保元の乱 朝廷の内紛が発生。源氏・平氏とも一族割れて戦う。平清盛と源義朝がついた勢力が勝者となる。源氏は、前年の襲撃事件での対立構図がそのまま現れ、義朝は父・為義や他の兄弟達と対立する。合戦中の義朝と為朝とのやりとりが有名。
1159年 平治の乱 再び政変が発生。複雑な勢力構成であるが、平清盛が参加した陣営が勝利し、源義朝側は敗北する。因みに、完全に源平に分かれての戦いではない。源義平(源義朝の子)が暴れまわる話しが有名だが、親子共討たれてしまう。源頼朝(義朝の子・当時13才)もこの時捕らわれ、伊豆に流される事となる。
1177年 鹿ヶ谷の陰謀 平家打倒の計画が発覚。平家物語では摂津源氏・多田行綱が平家への密告役として登場。
1180年 以仁王の挙兵 以仁王が挙兵。摂津源氏の源頼政が呼応するも鎮圧される。この時の令旨とされるものを新宮行家が持ち回り、平家に対する全国的な挙兵活動へ繋がっていく。

治承・寿永の乱(1180-1185年)
1180年 頼朝、甲斐源氏の挙兵 ■頼朝の挙兵 源義朝の子・頼朝が挙兵。 ■富士川の合戦 平維盛率いる平家の追討軍を、甲斐源氏が撃退。
1181年 清盛の死と義仲の挙兵 ■墨俣川の合戦 平知盛率いる軍が編成され、近江の山本義経を撃破。続いて行家の軍も撃破。その後引き返す。 ■義仲の挙兵 源義賢の子・義仲も信濃で挙兵。越後の城氏を破る。
1182年 全国的な飢饉 ■養和の飢饉 全国規模の大飢饉が発生し、どの勢力も大きな行動をとれない年となる。
1183年 義仲の入京 ■倶利伽羅峠の合戦 平維盛らに率いられた討伐軍と義仲軍が激突し、義仲軍が勝利する。 ■義仲入京 木曾義仲が、新宮行家、志田義広、山本義経らと入京。 ■水島の合戦 義仲入京に伴い、都を落した平家が、西国より再起。備中水島で義仲軍を撃破。 ■室山の合戦 水島での勝利に続き、行家の軍も続けて撃破。 ■法住寺合戦 窮地に陥った義仲は、後白河法皇を幽閉。仲間割れが発生し、両陣営へ分かれて戦う。
1184年 頼朝軍の上洛 ■瀬田/宇治川の合戦 頼朝の軍と義仲の軍が激突するも、多勢に無勢。義仲軍は敗れ、粟津の地で討たれる。 ■一ノ谷の合戦 義仲軍を毛気はした頼朝軍は入京し、一ノ谷で平家軍を撃破。 ■三日平氏の乱 「三日」とはいっても大規模なものであり、伊勢を中心に長く続き、頼朝方も多くの被害を出した。
1185年 平家の滅亡 ■西国・九州での戦い 源範頼率いる軍が平家方を破り、西国、九州へ進むものの、兵糧不足で進撃も停滞してしまう。 ■屋島の合戦 河野水軍と戦う為に平家方の主力が向かった留守中、義経郎党が四国へ渡り屋島を襲撃。平家方は包囲される事を警戒したのか退却する。 ■壇ノ浦の合戦 頼朝と平家の最終決戦となる。
この後、1189年奥州合戦となる。